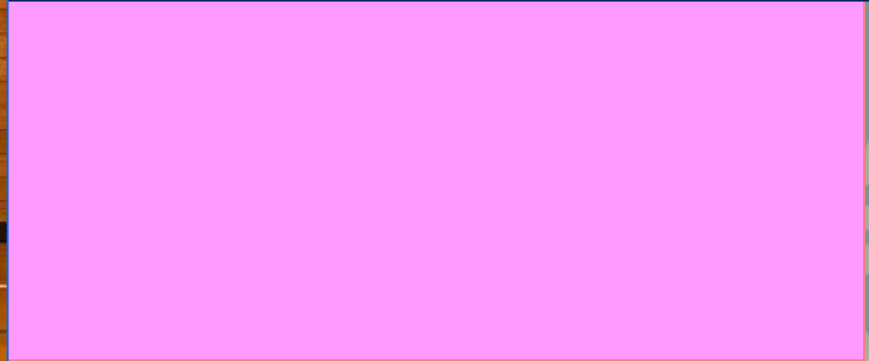


面影小学校5年生との交流



認定こども園 さくら幼稚園・さくら保育園

第1回交流前に……

コロナ禍で思うように交流できない中、
5年生からのプレゼントが届きました。



お兄さん、お姉さんから
花束をもらったよ。早く
一緒に遊びたいな。



でも、小学校って
どんなところ？
どきどき……

楽しみにしている反
面、不安もあるみた
いだなあ。

学校について知ろう



絵本を通して、学校のことを
少しだけ知りました。

園のことや園児のことを5年生に知ってほしいな。



手紙の返事を出そう!



手紙と一緒にビデオレターも送りました。

事前に花束や手紙のやりとりをしたり、取り組みについて知らせたりしたことで、園児も保護者も期待をもてました。



取り組みを保護者へお知らせしました。

第1回交流会(9月24日) 於:さくら幼稚園・さくら保育園

* 交流の目的 「お互いを知る。親しみをもつ。」

* ねらい 小学生 ○園児と一緒に過ごしたり、活動したりすることを通して、相手の気持ちを考えたり、自分にできることを進んで行ったりする。

園児 ○交流するお兄さん、お姉さんを知り、一緒に遊ぶことを楽しむ中で親しみをもったり今後の交流に期待をしたりする。

* 評価の視点

小学生 ○園児とどのように関わればよいのかを考え、表現方法を工夫したり相手の立場に立って活動したりする。

園児 ○5年生と交流する中で、親しみをもって関わったり、喜んで一緒に活動したりする。

* 内容 ゲーム遊び ・5年生提案(じゃんけん汽車)
・園児のしている遊び(お尻鬼ごっこ・雑巾がけリレー)
絵本の読み聞かせ、5年生への質問タイム

自己紹介



どきどき・・・

このくらいの高さなら歩きやすいかな？

何を話そう・・・

初めから1対1の関わりは緊張感が増すみたい・・・



じゃんけん自動車



お尻鬼ごっこ



じゃんけんや鬼ごっこが5年生同士、園児同士になっている。お互いが自然に関われるやり方を考えよう。

慣れた遊びを取り入れたことで、気持ちもほぐれたのかな。笑顔が見られるなあ。



雑巾がけリレー

絵本の読み聞かせ



声はこのくらい
の大きさかな？
ゆっくり読もう。



このくらいの速さ
なら大丈夫かな？

5年生は園児の様子
を見ながら動きや声
の大きさなどを工夫
してくれてるな。



メダル交換

お別れの時間

玄関までの見送りの予定だったが、自ら靴を履いて外に出る姿が！

名残惜しそう。最後まで見送りたいんだな。



急遽、出口に花道を作って見送ることにしました。

ばいばーい！ また来てね！



5年生が帰った後に嬉しそうに保育者に話をする姿が・・・

この絵、
かわいい！

先生、メダルにまたあそぼうって書いてある！

先生見て！
僕のはこんななの！

一緒に遊んで楽しかったみたい。
親しみも感じてるな。こんな思いを5年生の前でも出せるといいな。

交流後は、毎回5歳児担任と5年生担任とで、同じ様式で評価と反省を出し合い、共有すると共に記録として残すようにしました。

9月24日 第1回交流（5年3組・うめ組）評価と反省

	小学校（5年3組）	さくら幼稚園・さくら保育園（うめ組）
良かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめは緊張しているようだったが、徐々に表情もほぐれ、楽しんでいく様子があった。 ・絵本の読み聞かせは事前に練習をしていたため、自信をもって読むことができていた。また、声の大きさや速さも意識して読んでいた児童が多く見られた。 ・遊びの中で、園児にペースを合わせたり、膝を曲げて身長を合わせたりするなどの気遣いが見られた。 ・普段と話し方を覚えて、園児に伝わるような話し方を意識して行っている様子が見られた。 ・「楽しかった」「次が楽しみ」という肯定的な意見が全日だった。 ・児童が司会進行を行って買いを進めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○交流会の事前から手紙・DVD等で互いにやりとりしていたことで、会えることや一緒に遊べる事の期待が高まったり継続したりした。 ○絵本の読み聞かせを1対1でしてもらったこと、活動の最後の贈り物の交換について、「自分だけの特別感」や「ペアだけの特別感」になり（子どもたちの感想も上がっていた）、ペアの距離感を縮めることにはつながったと感じた。 ○子どもたちの質問に答えてもらう時間をもち、それを小学生から聞く事ができ、小学校への期待感が益々膨らんだ。よかった。 ○そうきんリレーのみとなったが、2回戦する事によって1回戦目で5年生のすごさを感じ（速い！面白い！など）2回戦目に意欲的に取り組み、一緒に楽しむ事ができていた。
反省点・課題点	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめの打ち合わせが不十分だったので、最初のペア決めで手取取った。 ・時間配分がうまくいかず、幼稚園の方で準備していたゲームができなかった。 ・決まっていた活動以外のフリーな時間（自己紹介・読み聞かせ後など）うまくしゃべれない児童がいた。 ・異年齢交流が初めてだったので、何を話していいかわからず、「感う児童がいた。 ・司会進行など、スムーズにいかない時があったので、事前の練習をもっと丁寧に必要があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○時間におられる場面が多く、活動をやった分になってしまった場面もあった。今回の交流で育てたいことを互いにしっかり理解した上での進め方をしていればスムーズにいったのではと思った。 ○手遊びは、せつかく面白い手遊びであったのに、まだ緊張している段階での実施となり、これもまたやっとな分、もしくは中身が薄いものとなってしまった。事前に知っていれば当日一緒に楽しめるようにそれまでに経験させたり、遊び方を考えたりしたと感じた。
次回に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・園と学校との打ち合わせをより密に行い、連携を深めていく。 ・児童が事前に見通しを持たせ、練習を積み重ねていく。 ・ねらいを共有する。 ・活動の細かい部分の話し合いをしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○今回のペアが次回でもいけるのか、育てたい姿に向けては他に方法があるのか、などしっかりと共通理解をできるような話し合いを重ね、指導計画を練って交流させたい。

面影小学校5年生との交流（まとめ）

認定こども園 さくら幼稚園・さくら保育園

面影小学校5年生		さくら幼稚園・保育園	
子ども	○来年から最高学年になり、学校をリードしていくことになるが異年齢との関わりが乏しく、集団の中でのリーダーとして活動したことがない。また、相手意識をもって何かを計画し、実行した経験がない。	○どの小学校へ行くのか、誰と行くのか、ランドセルを購入したなど、就学に向けて期待が高まっているが、実際にはどのようなことをするのか分からず、不安に思っていることも多い。 ○面影小学校との交流を楽しみにしながら、自分達にできることをみんなで考える姿が見られる。	
ねらい	◎保育園、小学校の交流を通して、相互理解を深める。（教師・保育教諭） ◎保育園児との交流をする中で、異年齢の関わり方を見つけながら交流を楽しむ。（小学校） ◎小学生と交流する中で、お兄さんお姉さんに親しみをもったり、就学に期待をしたりする。（さくら）		
ねらい	交流1回目(9/24)	交流2回目(11/2)	交流3回目(12/7)
	○園児と一緒に過ごしたり活動したりすることを通して、相手の気持ち考えたり、自分にできることを進んで行ったりする力を育む。	○園児と一緒に過ごしたり、学校を紹介したりする活動を通して、お互いのことをより知り、相手意識をもち、行動することができる。	◎相手の立場に立って開かれれば交流が活性化するか考え、思いを伝えることができる。
活動内容	◎小学生に親しみをもちながら、一緒に活動することを楽しむ。 ◎小学生と一緒に学校巡りをする中で学校について知り、就学に期待をする。	◎園児と一緒に遊びながら、一緒に活動することを楽しむ。 ◎小学生と一緒に学校巡りをする中で学校について知り、就学に期待をする。	○遊びの中で、自分なりに思いや考えを出しながら、5年生と関わることを楽しむ。
	◎はじめの会（自己紹介・ジャンケン列車） ◎お尻おにごっこ ◎椎巾がけリレー ◎絵本の読み聞かせ ◎終わりの会（園児からの質問に答える）	○はじめの会 ○仲良しゲーム（ジャンケン列車・雑巾がけリレー） ○学校探検（クイズ形式）*地図作成 ○おわりの会	○はじめの会（各教室） ○学校体験（席について） ○コーナー遊び（サッカー・リレー・おにごっこ・ドッジボール・長縄）
評価と反省（小学校）	○交流当日までにチーム練習や（司会・遊び）通し練習を行っていたので、全児童が会の見通しをもっており、スムーズに会を進めるなど、主体的に動くことができた。 ○はじめは緊張していたが、会が進むにつれて笑顔が増えていき、互いに楽しんでいく様子が見られた。 ○絵本の読み聞かせで気持ちを込めて声の大きさや質を変えて読むことができた。 ●事前打ち合わせが不十分だったので、手取取った場面があった。 ●あらかじめ決まっていた活動は積極的に取り組めたが、フリーな時間うまくしゃべれなかった児童がいた。 ●異年齢交流が初めてで、どのように話したらよいかつかめていなかった。	○自然に打ち合わせしておくことで、会をスムーズに進めることができた。児童が中心となって司会進行ができた。 ○2回目だったので、少し慣れた表情で接することができ、園児のことを気遣う様子が見られた。児童の方から園児に声を掛ける姿もあった。 ●時間配分、前半部分にもたついてしまい、後半の学校探検に時間を割くことができなかった。 ●人数調整などでもたつたところがあった。そのため、後半の学校案内の時間が短くなってしまった。 ●クイズの作り方を工夫すると良かった。（難しかった） ●児童の指示が上手く伝わっていないところがあった。	○5年生の教室で呼名を返す、鉛筆で字や絵をかいたりする学校体験の場面では、園児に返事の仕方を優しく教えていたり、何をしてみたいか聞いたりなど相手のことを考えて行動する様子が見ることができた。 ○遊びでは、自分たちで遊びの方法を考えたり役割を決めたりしながら計画を立て、交流会当日を迎えた。当日は、責任をもって自分の役割を果たしながらも、相手のことを考えながら流動的に活動を進めることができた。笑顔も飛び交っており、お互いとても楽しそうに交流を行っていた。 ○全3回の交流会を通して相手に伝えるにはどのように話したり行動したりしたらよいか考えることができるようになった。また、相手を楽しんでくれる、喜んでくれるにはどうしたらよいかを考え計画を立てたり、活動したりできるようになった。異年齢交流の楽しさを感じる事ができた。
	○園児に出たときのマナーなど、場に応じた行動がとれるように育てていく必要がある。	●今回は、学年の友達全員で出かけたことにより自己発揮できた面もある。就学時にはそれを受け新しい環境の中で小学校生活をスタートさせる。交流などを通して段差を少しでも軽減してもらえる環境はともてありがたいが、実際の新生活のスタート時に願えない力（様々な場・人・状況に適應できる力・伝える力・聞く力・我慢する力・やりぬく力・困難に立ち向かう力など）をしっかりとつづいていく必要があると感じた。 ●交流に関しては、園児がわかること、できることを具体的に伝える必要があると感じた。 ●園外に出たときのマナーなど、場に応じた行動がとれるように育てていく必要がある。	◎今年度は新型コロナウイルスの影響もあり9月～12月に3回、1か月に1回のペースで交流を行ったので、他の学校行事とも重なり準備が十分にできないこともあった。3回という交流回数では丁度良いと感じたが、期間を伸ばし、しっかりと準備を行って交流を行うのが良いと感じた。（夏休み前1回、9～10月に3回、11月～12月に1回くらいの時期が良いのではないだろうか。） ◎打ち合わせでは児童・園児の実態やねらいをもとに、交流会の活動や教職員・保育者の役割を明確にしておくことでねらいにより迫ることができると感じた。 ◎子ども達の交流を通して、職員同士がお互いの子ども達の育ちや園について共通理解や情報交換を行うことで、活動も充実し子ども達の育ちに繋がると実感した。今後、職員同士がそれぞれの教育・保育や実際の子ども達の姿について理解したり語ったりできる場をもつことが大切だと感じる。
次回のポイント	○8月下旬に手紙と花束をもらい、自分たちも手紙の返事やビデオレターを作ったこと、交流当日に向けて準備してきたことで、期待が高まった。（受け身の交流にならなかった） ○はじめは互いに緊張していたが、次第に表情も和らぎ、動きや声に活気が出てきた。 ○前回の反省を生かした遊びの計画ができたと思う。中でも、今回は前よりも子ども達の姿を見通した活動の進め方に関する担任同士の打ち合わせを意識できたと思う。 ●小学生は学校探検で回るルートや、案内の仕方、楽しめるようなクイズ等事前から考えてくれたと感じたが、学校について園児が知りたいことのずれが多少生じていたように思った。（クイズの内容が難しかった物もあった・イメージがもてない内容）もっと園児の知りたいことを事前に伝え、それが、小学生が問題等考えてくれるときのヒントになるようにすればよかったと反省した。（向かう方向に向けての共通理解や情報交換）	◎園の子どもたちが求めていること（知りたいこと・やってみたいこと）が実現できた事から、活動の選択はとても効果的だったと感じた。 ◎決まった流れ、形式がほとんどなかったため、小学生にとって、「どうやら伝わらるか、楽しめるか」ということを考えながら活動を行うよい機会となったと、様々な場面を見て感じた。 ◎互いに楽しめる活動の中での関わりとなったことで、互いの充実感や満足感が今までの活動の中で1番高かった。 ●園児が楽しめるコートの大きさや遊びかたなどをしっかりと確認しておくべきだった。	
●課題点	○園児が楽しめるコートの大きさや遊びかたなどをしっかりと確認しておくべきだった。		

第1回交流会の振り返り

○成果

- 事前に5年生から花束をもらい、園児も手紙の返事やビデオレターを送ったことで、お互いが期待をもって当日を迎えることができた。
- 5年生は、自分達が中心となつての会を進行する、絵本の読み聞かせでの声の大きさや読み方を工夫する、ゲームでじゃんけんをしたり一緒に動いたりするときは、目線を合わせたりしゃがんで肩に手を置きやすくしたりするなど、会をリードする姿や園児のことを考えながら行動する姿が見られた。
- 園児は、最初は緊張していたが経験したことのあるゲーム遊びなどを通して気持ちもほぐれたのか次第に表情も和らいだ。たくさん遊んでもらったことの嬉しさやまた遊びたいという気持ちの芽生えが感じられ、帰りにはお兄さんお姉さんを見送りたいと進んで玄関の外まで見送る姿があった。少し5年生に親しみを感じてきているのだと思う。

○課題・次回に向けて

- 今回は職員同士の事前の打ち合わせが不十分だったことで活動中に手間取る部分もあった。指導案上のやりとりだけではなく、スムーズな進行に向けての細かい部分の打ち合わせもしっかり行う。
- じゃんけん汽車では園児が先頭のペアを作ったことで、園児同士のみのじゃんけんになった。また鬼ごっこでは、お互いに遠慮などがあり園児・5年生同士の活動になってしまう場面が多かった。園児と5年生の関わりが自然に生まれるような活動内容ややり方を工夫していく必要がある。
- 自己紹介や質問コーナーはペアになったが、1対1ということで互いに緊張感や恥ずかしさを感じ、声が小さくなったり、5年生がどう答えたらいいかわからない等戸惑う様子が見られたりした。小グループでの活動にした方が、知っている友達と一緒にという安心感をお互いにもて緊張が緩和されたり、5年生は友達と相談しながら園児に関わったりできるのではないか。
- 活動が毎回違うと1回1回が初めてになってしまう。同じ活動を取り入れることで、園児は安心感をもったり5年生も前回の園児の様子を思い返しながら関わり方や伝え方を考えたりして遊びや関わりが深まるのではないか。



次回は・・・

*小グループで行う活動にする。

*園児は学校のことを知りたがっている。次回は学校に行って園児の知りたいことがわかる場にしたい。

第2回交流前に……

職員同士の打ち合わせをしっかり行おう！

*前回の課題を踏まえ、園児が知りたいこと、興味をもっていることを伝える。

*指導案をもとに、当日の流れなどの共通理解をする。

5年生から学校の
ことをクイズに
しようという案が
出ています。

グループの色を
決めて当日分か
れやすいようにし
ましょう。

次回もじゃんけん汽車
を入れましょう。5年生
ともじゃんけんできるや
り方が盛り上がるかも。

5歳児担任

5年生担任

理科室とか音楽
室とか園にない
教室を見てもら
いたいですね。

オリエンテーリングが
好きなので、校内探検
はどうでしょう。クイズ
もそこに入れては？

ポイントカード
は園が用意し
ますね。

第2回交流前に、5年生からお手紙が届きました。



おもかけしょうがっこうから
おてがみがとどきました！！



<次回は>
11がつ2にち(げつ)

おもかけしょうがっこうにきます！！

次回は学校へ行かせて
もらい学校探検を
することを知って、園
児の期待も膨らみまし
た。

第2回交流会（11月2日） 於：面影小学校

* 交流の目的 「より互いのことを知る。思う。」

* ねらい 小学生 ○園児と一緒に過ごしたり、学校を紹介したりする活動を通して、お互いのことをより知り、相手意識をもち、行動することができる。

園児 ○5年生に親しみをもちながら、一緒に行動することを楽しむ。
○5年生と一緒に学校巡りをする中で学校について知り、就学に期待をする。

* 評価の視点

小学生 ○園児が何を望み、どのように関われば交流が活性化するのか考えることを通して、思いをよりの確に伝えようとしたり効果的な表現方法を工夫したりする。

園児 ○ゲームや学校めぐりをしながら5年生に親しみをもち、一緒に活動することを楽しんでいる。

* 内容 ゲーム遊び（じゃんけん汽車・雑巾がけリレー）、学校探検



お出迎え



じゃんけん汽車



事前に決めた色別のグループに分かれることでスムーズにグループが作れた。お互いに友達と一緒にということが安心感につながった!前回よりも笑顔が見えるなあ。



グループ分け

園児も5年生も一緒に楽しめてる。前回の反省からやり方を見直したことが生きてるなあ。

学校探検 (オリエンテーリング)
学校内を案内してもらい、クイズに答えたり、カードにポイントのシールを貼ってもらったりしました。



パソコン室



家庭科室

園にはない部屋
など学校のことを色々
知ることができた!



図書室

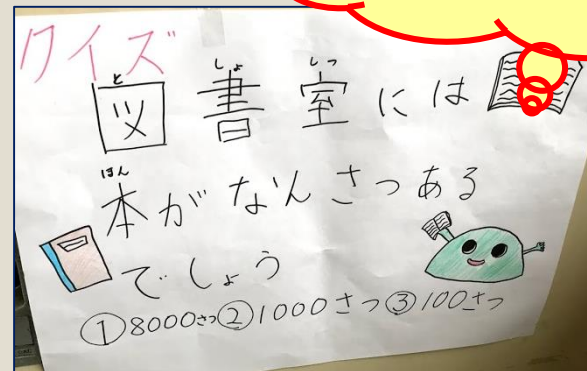
これがいい!



どのシール
がいい?

自分の思い
をちゃんと
伝えられてる!

クイズが園児には難しいな
あ。園児の理解できること
や知りたいことを具体的に
知らせた方がよかったな。



理科室に見たこと
のないものがいっ
ぱいあったのが面
白かったです。

終わりの会



第2回交流会の振り返り

○成果

- じゃんけん汽車では、園児と5年生のじゃんけんからスタートしたことで、お互いにじゃんけんを楽しむことができた。前回と同じゲーム遊びを何個か取り上げたことで、緊張なく取り組めたり、前回よりも盛り上がった。同じ活動をしたことが生きたと思う。
- 学校探検では、オリエンテーリングの要領でグループごとに図書室やパソコン室、家庭科室など学校ならではの場所を中心に校内の色々な場所を回った。その中で5年生は、自分から園児に話しかける、優しく教えてあげる、園児のことを気遣う等お兄さん、お姉さんらしくリードする姿が見られた。園児が質問することにもどう答えたらわかりやすいか言葉を選びながら話をする様子も見えた。
- 園児は学校探検を通して5年生に優しくしてもらい、表情がとても楽しそうで、お兄さんお姉さんに信頼感をもってついていく様子が見られた。また、就学時健診時期で小学校へ行くことへの不安を感じている子もあったが、学校の場や人について知ることができたことで不安が安心に変わった。この時期に学校の様子を知ることができたことはよかった。
- 回を重ねるごとにお互いに親しみが増している。5年生は慕われたり話したことが伝わったりする喜びや園児への関わり方が分かってリードできる自信なども感じているようだった。
- 園児は「学校のことを知りたい・見てみたい」気持ちをもって参加し、5年生は「知らせたい・楽しませたい」という思いで園児に関わることができた。「お互いがより知る。思う。」という目的に向けては充実した時間となった。
- 前回の反省を生かし、事前の打ち合わせをしっかりと行ったことやグループ活動にしたことで、お互いに余裕や安心感をもって活動を行うことができた。

○課題・次回に向けて

- 学校探検に時間がかかり、全部回れなかったグループもあった。時間配分を考えた計画をしていくことが必要だった。
- 学校探検では、5年生がルートやクイズなど考えてくれていたが、クイズの内容に大きな数が出てくるなど園児がイメージすることが難しいものも多く、**知りたいこととのずれがあった**。5年生が考えるクイズに生かせるよう、園児の知りたいことや理解できることなどを事前に伝えておけばよかった。
- 今後の交流の中でも、**子ども達の思いやねらいに向けての具体的な内容について職員同士が共通理解や情報交換をするなど、思いを大切にした連携を取るようにする**。
- 園児の小学校生活に対する「知りたい」が高まっている。保育者は園児の知りたいところを探り学校へ伝え、お互いに「教えてあげよう」「聞いてみよう」と期待や意欲がさらに高まる活動をしていきたい。



次回は・・・

* 自己発揮がテーマなので、園児と5年生がお互いに自己発揮できる内容を考える。

第3回交流前に……

子ども達の実態が分かりやすい打ち合わせを行おう!

*お互いの子ども達の実態を具体的に伝えあい、共通理解する。

教室で各机に座って
もらって、ちょっとした
学習体験をするのは
どうですか?

5年生担任

体育館と校庭に
分散すればでき
ますね。雨天の時
はどうしましょう?

5年生も体を動
かすことは好きで
すよ!

折り紙が好きな
子もいますよ!

学校探検で、机
に座ってとても嬉
しそうでした。

選択できる遊び
が自己発揮がし
やすいかも。

5歳児担任

ドッジボールと
かケイドロとか
サッカーなど体
を動かすことが
好きです。

室内だとレゴブ
ロックとか折り紙と
かはどうですか?

第3回交流会（12月8日） 於：面影小学校

* 交流の目的 「互いに自分を出しながら自己発揮して遊ぶ。」

* ねらい 小学生 ○相手の立場に立って、どのように関われば活動が活性化するかを考え、思いを伝えることができる。

園児 ○遊びの中で、自分なりに思いや考えを出しながら、5年生と関わることを楽しむ。

* 評価の視点

小学生 ○園児と一緒に遊んだり教室でコミュニケーションをとったりする活動を通して、どのように関われば活動が活性化するかを考え、園児と関わっている。

園児 ○やりたいことを伝えたり、わからないことを聞こうとしたりしている。

○5年生に親しみをもちながら進んで遊びに取り組み、笑顔が見られる。

* 内容 学習体験（着席、呼名など）

選択遊び（ドッジボール、長縄跳び、サッカー、リレー、鬼ごっこ）

学習体験

机に座って、学校の雰囲気を体験しました。



はい。元気です！
ちゃんとお返事で
きた。

〇〇さん

次は誰が呼ば
れるかな？



褒められた！
もっと書こう。

字が上手だね！



お姉さんは絵が
上手だなあ。
お姉さんみたい
に描きたいな。

名前を呼ばれて返事をしたり、5年生に褒めてもらえたりしたことが安心感や自信につながっているなあ。

選択遊び
自分の好きな活動を選んで、
5年生と一緒に遊びました。

お兄さんをつかまえるぞ!

けっこう速いなあ



鬼ごっこ

行け行け!
そのままゴール!

チャンス!



サッカー



リレー

大好きな体を動かす活動の中で、5年生に交じっても自分の力を発揮しているなあ。



お兄さんに
当てんさい

ドッジボール

よーし
えいっ!

やり方がちょっと難し
いなあ・・・
5年生に園児がで
きることを知らせよう。



長縄跳び

10回跳ぼうな!
せーの!
1, 2, 3, ...



一緒に楽しめました。

園児にはコートが広すぎ
る・・・
園児の発達段階を伝えき
れていなかったなあ。



お兄さん、お姉さんや先生への親しみが
深まっているなあ。
就学への不安が減っているようだ。

第3回交流会の振り返り

○成果

- 園児にとって「学校の先生との関わり」への期待や不安もある。教室での学校体験では、先生に名前を呼んでもらい緊張しながらも返事をする事ができた。名前を呼んでもらうことはとても良い機会となった。また、5年生に机の中のものを見せてもらったり鉛筆を使って描いたりする場面では、「これは何？」と聞いたり、描いたものを「すごく上手だね」と誉められたことを喜び、知っている文字や好きな絵を張り切って描いたりする姿があった。5年生もそれぞれが文房具などを紹介したり園児の描いたものについて思いを聞いて認めたりするなど園児のことを受け入れて関わる様子が見られた。
- 今回の活動は、前回の学校の中の場所や人を知ることに加え、学校生活に少しだが触れることができ、園児にとって就学に対する安心感や期待に大きく繋がる活動となった。
- 選択遊びでは好きな遊びを選んで行う活動だったので、園児が普段の遊びの延長としてそれぞれの活動の中で自分の力を発揮しながら楽しむことができた。また、5年生もゲームのルールやグループ分けなど「どうやったら伝わるか、楽しめるか」ということを個々が考えながら活動する良い機会となった。これまでは、園児が5年生にしてもらう活動が多かったが、お互いが楽しめるものをと考えた活動の選択が効果的だったことを感じた。また、互いの充実感や満足感が今までで一番大きかった。

○課題

- 教室での活動の際、名前を呼んでもらうだけではなく、簡単な板書や指名などもあるとさらに今後の期待に繋がったと思う。そのあたりの細かい打合せもあればよかった。
- 実態を大切にして共通理解したつもりだったが、実際に活動してみると気付ける部分もあった。より実際の活動を意識し、発達段階や環境構成などについての情報交換や共通理解を行うことが必要だと感じた。

* 交流後に・・・

面影小学校体験入学

年賀状交換

1年生と交流したり、移動や待ち時間は5年生と過ごしたりしました。



年賀状
(5年生)



年賀状
(園児)

交流後もお互いのことを思いながら、
年賀状を作り、交換しました。



1年生との交流

自然に笑顔や会話がある！
交流の成果がでているな
あ。

卒園児とペアになっている。
知っている顔が多い
ことで、安心して活動に
参加しているな。



5年生と

* 交流を通しての本園の成果と課題 *

○成果

- 就学前の園児は、初めての学校への期待と不安が大きい。しかし、繰り返し交流したり、学校のことについて知ったりできたことは、園児にとって安心感や期待を更に高めることに繋がった。
- 職員や保護者に交流について知ってもらおうと写真や手紙などを掲示したことで、5歳児担任以外の職員が交流の様子を把握することや保護者にとっての安心感につながったと思う。
- 今回の交流を通して、伝える・聞く・考える・学ぶなど人と関わることで得られる力をたくさん得ることができた。また、場所が変わっても自分のやりたいことや困ったことを伝える姿など、園でつけてきた力を生かす姿を客観的に見ることができた。
- 交流を通して5年生に学校のことを教えてもらった喜びや絵本「しょうがっこうがだいすき」を見たことなどもきっかけとなり、「年中さんも年長になったら何するんだろうって思っているかも」「年中さんに年長のことを教えてあげよう。」という気持ちが出てきた。年中児が安心して進級できるよう、行事や当番活動について知らせてあげたいと色々な活動に取り組んでいる。自分たちにできることを生活に取り入れていく姿に繋がった。

※「しょうがっこうがだいすき」は、小学校2年生の女の子がこれから1年生になる子に向けて、小学校生活を楽しく送るためのアドバイスを書いた絵本です。

○課題

- 今回は、学年全員が同じ学校に出かけたことで自己発揮することができた面もある。今回の交流を生かし、15校それぞれの就学先でも自己発揮できるよう、これまで生活の中でつけてきた「伝える力」「聞く力」を大切にしながら、さらに「我慢する力」「やり抜く力」「困難に立ち向かう力」等を養い、新しい環境の中でも躓かない力をしっかりとつけていく必要を感じた。
- 学校に行ったことの嬉しさから、気持ちが高揚しはしゃぐ姿もあった。それも自己発揮として捉えることもできるが、園外に出た時のマナーなど場に応じた行動や相手の立場に立った行動がさらにできるよう育てていきたい。
- 交流や連携がまだまだ5歳児担任だけのものになっている。全職員が連携の必要性を感じながら、各学年の保育に生かしていくことが必要である。